

シリーズ「安全安心な医療をめざして」

第1回～医療も自分で選ぶ時代、いま必要な正しい情報とは？～

子宮頸がん「予防」HPVワクチンの集い

このシリーズでは、医療に関わる「リスク」と、それに対処する「マネジメント」について様々な角度から事例を用いて検証します。第1回は、子宮頸がん発病を予防するために導入されたHPVワクチンについて専門家や、接種後に副反応にまわられている女性たちなどをお招きし、様々なご意見を伺いたいと思います。

このワクチンは、日本では2009年に初めて導入され、2013年に定期接種化されましたが、わずか2ヶ月後には積極的勧奨を控えることになり、その状況は現在まで変わりません。

全ての人に健やかな人生を全うしてもらいたいと発展してきたはずの医療の中で、このワクチンのように不明瞭な状況が継続してしまう原因はどこにあるのか、様々な立場の方々に一堂に会していただきお話を伺います。

本シリーズでは、結論を提供することを目的とせず、様々なご意見を併記させていただくリビングラボです。医療従事者など当事者のみならず全ての現代人が自ら最善の医療を選び取るための一助となることを願っています。

リビング
ラボ

日付：令和2年2月11日（火・祝/建国記念日）

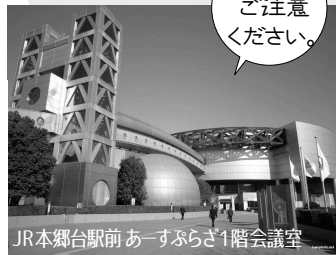
内容：16:00～20:00 講演・ディスカッション
（予定） 医師・ジャーナリスト・社会学者・頸がん経験者・ワクチン接種者等による

会場：あーすぷらざ 1階 会議室

神奈川県立地球市民かながわフラザ JR京浜東北線 本郷台駅前 徒歩3分

会場に
ご注意ください。

メールお申込みもOK



共催：「安全安心な医療をめざして」実行委員会

お問い合わせ：さかえ横浜会議 事務局（こしいしかつ子事務所内）

電話：045-443-8166 FAX：045-443-8167 Eメール：koshiishijimusyo@gmail.com

（資料代など）

運営協力金：500円～ お気持ちで/当日会場受付にてご協力いただければ幸いです。